

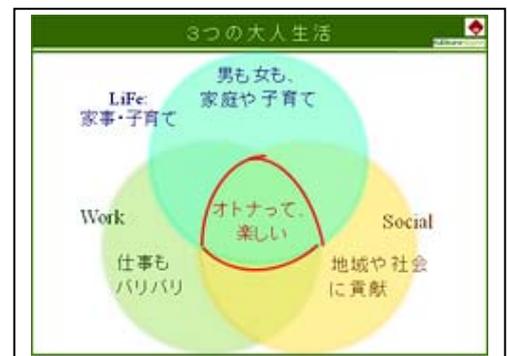
## 仕事も、家庭生活も、社会貢献活動も欲ばる ワークライフバランス講座 開催 2013年11月28日

三井物産系列会社社長として世界を駆けるビジネスマンであり、子育ても全力投球、PTA 会長や子どもの力を社会に生かす NPO 主宰者と社会貢献活動にも注力され、ワークライフバランスの真の体現者である川島高之氏を講師にお迎えし、標記講座を開催しました。「大人人生を充実させるヒケツ」をテーマとした実践に根ざした力強いお話に、学生・教職員／男女／年代層幅広く 25 名の参加者が、聴き入りました。

社会に出るにあたりどう働きどう生きていくかという、正解が掴みにくく不安にもなりがちなテーマに向き合い、Work、Life、Social の 3 つを軸に人生を充実させる術を学んでいただくことがこの講座のねらいです。

冒頭に、男女共同参画担当の齋藤美穂理事より、「Waseda Vision150 における男女共同参画」として、大隈重信侯の「男女複本位論」により、女子は優れた能力をもっていると、高等教育への門戸を開いた大学女子教育の先駆けであった本学の歴史が緋られました。Waseda Vision150 に掲げられた、教育・研究の質の飛躍的向上を図るにあたり、男女共同参画・ダイバーシティの推進が経営ビジョンであると挨拶がありました。続けて、当推進室では、男女共同参画の意義を理解し実践するための活動や、教育・研究・学業・仕事と出産・育児・介護等との両立支援、キャリア形成支援等を行っており、その一環である本講座での学びを、今後に生かしてほしいとのお話がありました。

「もし、制約ゼロ、希望が全て叶うとしたら、どんな生活を送りたい？」という問いかけに始まり、「人との繋がり時間を大切にしたい」といった参加者の応答を受け、「今日は、『男も女も家庭や子育て』、『仕事もバリバリ』、『地域や社会に貢献』の 3 つを軸に人生欲張って楽しもうという話です」と、ご自身の経験を踏まえた説得力あるお話が始まりました。



## Part-1 Life 『男も女も、家庭や子育て』

ご自身がママチャリでご子息を保育園に送って商社に出勤、お弁当作りを担当し、パートナーを尊敬しそのキャリアを支えてこられた実生活が語られ、損得勘定でなく、結婚し子どもをもつことは絶対的に素晴らしい、子育てほど“おもしろい”ことはない、理屈・理論は必要ないものだと言われました。

そこから、今の親世代の子育て環境は？と進み、共働き世帯の増加傾向が示され、終身雇用の崩壊により収入を確保するため妻の就労の必然が生れる“消極的理由”が挙げられました。“積極的理由”として、キャリアをのばし仕事を続けたいと考える女性が増え、男性には子育ても料理もやり、地域にも参加するイクメン志向が顕著と挙げられました。男性は仕事オンリーからワークライフバランス（以下 WLB と表記）へ、女性にとっては男女共同参画の推進で子育てサービスが充実して、活躍しやすい時代になっていると、データに即した解説がなされました。

続いて、夫婦 Partner とは協力者、補完関係者であり、互いにできることを補完し合う関係性が本義であるが、国際比較をみると、日本の男性の家事育児時間は、北欧やドイツの 3 時間超に比して 1 時間、内育児は約 30 分と極めて短いと指摘されました。バリバリ働く女性は、管理職・研究者に占める割合が圧倒的に低い日本の現状があり、海外の企業トップと面談すると 5 社に 2 社は女性責任者に会うが、日本で女性責任者に会うことは稀だと実感をもって語られました。

本パートの結びとして、子育ては義務でなく権利、男性もしないと損、共働きなら共育てが当然、海外では専業主婦は珍しく単身赴任は日本独特、グローバル人材とは仕事・家族・地域を大切にする人のことだ、夫婦ともに WLB を人生の基本とし、子育ての楽しさを倍増しつつらさを半減させようと、未来の父・母たる学生へメッセージを述べられました。

## Part-2 Social 『地域や社会に貢献』

社会貢献には能力の還元、コミュニティ・ビジネス、CSR 等、昨今その意義の大きさが認識されているが、NPO の数がここ 5 年の間に 100→500 近くと飛躍的に増えており、日本人の関心が Social に向いていると図示されました。国の成熟は金銭価値の志向から社会貢献への視座をもたらすものであり、東日本大震災も含めてコミュニティの大切さも実感されていると説かれ、地域資源を生かし地域課題を解決するコミュニティ・ビジネスのニーズの高まり（商店街の活性化、環境・資源の保全、子育て支援、子どもの健全育成等）

も概観されました。米国の大卒者の就職人気ランキングの上位にNPOが食い込んでいるデータが示され、社会的企業が、長期スパンで人生を考える若者に強い訴求があることを示唆されました。

パート2の結びとして、自分の能力を仕事、あるいは家事・育児だけに発揮するのはもったいなくないか？地域や社会で能力を発揮しよう、リターン（報酬）は？の問いには、「金じゃない、もっと価値あることだ」と応えたいと、未来の社会人たる参加者に、力強く話されました。

### Part-3 Work 『仕事もバリバリ』

3軸で力を発揮するには、仕事ばかりの人より、短時間で高い成果を出す必要があり、緊張感をもった仕事人生となる、換言すればプロフェッショナルな仕事人＝手に職をつけた人材になることを意味する、全ての仕事にはプロフェッショナル性が要求され、例えば、若者が敬遠しがちな営業マンは、販売するプロフェッショナルという手に職をもつ人材だ、営業、会計、人事・・・どの分野でも、普通に仕事をこなす人とプロフェッショナルは違う、と企業人の川島講師ならではの、これからの社会人に重要な助言がなされました。

就職活動にも言及され、従来はどの会社にするかの“就社”であったが、今後はどの職にするかで判断する就“職”の観点が必要、就職後、何ができるかを考えてほしいと貴重な提言がなされ、参加者のメモをとる手が進みました。

総括として、3つの大人人生をすべてやる4大意義と、秘訣4点が開示されました。

①「居場所が増える」：子育てに全力投球すると、子どもにとっては過干渉、母親としては子育て終了後の人生の過ごし方が難しいという課題が生じる。また、職場以外の居場所があると、仕事で迎合主義に陥らず、定年退職後の虚無感のリスク回避もできると、その意義が説かれました。②「相乗効果」：子育てを通してコミュニケーションが養われ、PTA会長経験で異色の人々をまとめるマネジメント能力が高まった、時間の有効活用を常に考え仕事の生産性があがった等、川島講師の経験をもとに、3軸をもつことのポジティブループが示されました。③「視野と人脈が広がる」、④お金を伴わない役割に使う時間が増えるほど、「仕事力もアップ」する、といいこと尽くしの意義が具体的に述べられました。

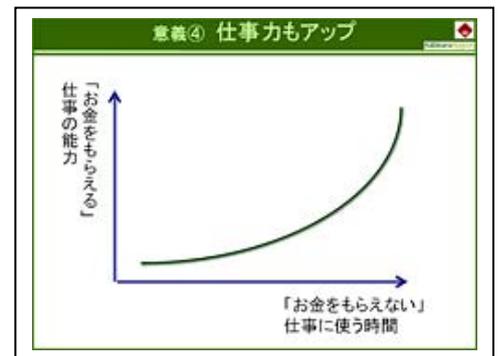
秘訣として、①基軸・理念をもち揺るがない、②他者の理念・慣習を理解し多様な価値観を認める、③基軸は諦めないが、それ以外は捨てることを厭わない、④前向き、失敗を恐れず、長期目線をもつ、と要諦4点が示され、これらの秘訣は、今後の時代を生きぬく4大キーワード：「グローバルスタンダード」、「WLB」、「ダイバーシティ」、「価値創造できるビジネス人材」に共通する考え方であると、まとめられました。

講義を受けてのミニワークでは、「大人なジブンを想像し、創造する」のテーマで、自分の3軸をワークシートに10分間で書き入れ、隣同士で共有しました。参加者のワークシートには自分の家庭・子育て像、仕事像、社会貢献活動と、その3つの実現のための課題、心構え、大切なことの項目がびっしりと書き込まれていました。講座で初めて席が隣合ったにもかかわらず、隣同士での活発なやりとりがなされ会場が熱気に包まれました。「30秒で発表」という川島講師の問いかけに、2人の参加者から「社会に貢献できる有為な人材になりたい」等、真摯な発表があり、拍手が湧きあがりました。講師からは、意識と見識の高さが表れている、ぜひ、その人生を実現してほしいと高評をいただきました。

最後に、なにげない人生とするか感動の人生にするか選ぶ権利を与えられている、権利を行使するかどうかは、自分次第である、全てをてんこ盛りで楽しんでほしい、全てできる能力をみなさんは持っていますと、力強い言葉で閉会となりました。

終了後多くの感想をいただき、“ワークライフバランスのイメージがおぼろげながら掴めた”“全てを欲することは直ぐには実現が難しいかもしれないが、長い人生を通して実現していきたい、今から何十年も経って人生を折り返した時に、川島先生の今日のお話を反芻してみて、自分の人生を胸を張ってふり返れるようになりたい”“就職活動が始まるので不安だったが、長期の人生の見通し、理想を考えると、これからの人生が楽しみになった”“就社ではなく就職というのは本当にそうだと思った。Work、Life、Social 全てに力を入れると仕事もうまくいくという視点は今までになかった考え方だった”“これから就職活動を始めるにあたり、仕事、家庭、社会貢献の3つの視点をふまえていこうという思いを新たにすることができた”“子育ては義務でなく権利、私たち未来の社会人へのメッセージに感銘を受けた”といった声が寄せられました。

講義部分のDVD収録(約70分)がサポートセンターで視聴できます。事前にメール [support-koryu@list.waseda.jp](mailto:support-koryu@list.waseda.jp) にて希望日時を予約のうえご利用ください。





Waseda Vision150 における男女共同参画についての齋藤美穂理事のお話



実践に基づく川島高之講師の説得力ある講義



後半のワークショップでは、ワークシートに描いた自分の将来像をもとに隣同士で共有し発表